

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は 2025 年度世界陸連競技規則および国内広告規程および大会申し合わせ事項により実施する。
WRK 対象種目以外は 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則および国内広告規程および大会申し合わせ事項により実施する。※WRK 対象種目の確認は大会要項を参照のこと

2. 競技場の開閉門および受付について

＞ヤンマースタジアム長居

	6 月 7 日 (土)	6 月 8 日 (日)
開 門	8 時 45 分	7 時 15 分
閉 門	20 時 15 分	19 時 00 分

＞ヤンマーフィールド長居

	6 月 7 日 (土)	6 月 8 日 (日)
開 門	14 時 30 分	15 時 30 分
閉 門	19 時 30 分	18 時 15 分

《ヤンマーフィールド長居利用における注意》

- ① 6/7、8 は中学生の競技会開催の為、上記時間以外に入することは出来ない。
- ② 6/7、8 の入退場はマラソングート（第 2 曲走路）から出入りすること。

＞競技者受付（アスリートビブス、プログラム配布）について

ヤンマースタジアム長居正面玄関内に設置の受付にて行う。

受付は開門時間～各日最終トラック種目開始 30 分前迄。6/8 は物品配布が完了次第、業務を終了する。

3. 練習について

- (1) 練習は危険防止に十分注意し下記の表並びに注釈を参照の上で実施すること。

状況によって表及び注釈の内容が変更になる場合があるため、現地では競技役員、大会運営役員の指示に必ず従うこと。

■練習会場の使用時間・日程

会場名	使用場所	6 月 6 日 (金)	6 月 7 日 (土)	6 月 8 日 (日)
ヤンマースタジアム 長居 ※1	トラック	13:00～17:00 ※2	8:45～12:10	7:15～9:00
	バックスタンド下 室内練習場	—	9:00～18:45	7:15～17:45
	バックストレート	—	9:00～20:00 ※3、※5	7:15～18:45 ※3、※6
ヤンマーフィールド 長居	トラック	—	14:30～19:15 ※4	15:30～18:00 ※4

※1 ヤンマースタジアム長居へは【正面玄関】および【マラソングート】から入場すること。

※2 6/6(金)は 1～2 レーンを中・長距離、3～7 レーンを短距離種目(ホームストレートはスタート練習)、8～9 レーン(ホームストレート)を 100mH、110mH の練習に割り当てる。

スターティングブロック、ハードルはホームストレート中央付近に置いてあるものから使用し、使用後は元の位置に戻すこと。

※3 競技において使用されている場合を除き第 1 曲走路～バックストレート～水濠付近まで使用可とするが、競技役員の指示に従うこと。

※4 投てき種目実施時(公式練習含む)には、利用可能エリアが制限される。

※5 6/7(土)は 13:25 まで、400mH 用にスタートから 3 台目までハードルを設置する。
→8 レーン：男子 9 レーン：女子とする。

※6 6/8(日)は 7:15～10:30、11:55～12:55 で 100mH、110mH 用にハードルを設置する。
→6、7 レーン：男子 8、9 レーン：女子とする。

★招待種目（小中学生）の練習について★

練習会場への入場は【エントリー選手及び付添者（1チーム最大2名まで）まで】とする。

＜ヤンマースタジアム＞

6月7日（土）

- ・小学生4×100mRは10:45～12:45の時間において、第1曲走路～バックストレート中央での3、4レーンでの練習を認める。

6月8日（日）

- ・中学生100mは7:15～11:00の時間において、バックストレートにて練習可とする。
また、11:00～11:30はバックスタンド下室内練習場の利用も可とする。
- ・中学1500mは11:45～13:00の時間において、第1曲走路～バックストレート～水濠まで使用可能とする。

＜ヤンマーフィールド＞

入場可能時刻が競技終了後になるため、利用（入場）不可とする。

（2）跳躍種目、投てき種目の練習は、招集完了後、競技役員の指示に従って行うこと。

4. 招集について

（1）招集所は、ヤンマースタジアム長居、メインスタンド下室内走路に設ける。

【正面玄関】および【マラソングート】から入場すること。

マラソングートから入場した場合、バックスタンド下の通路を通り、第4ゲートから雨天練習所横の通路へ抜け、招集所入口で持ち物等の商標チェックを受けること。※トラック側からの入場はできない

（2）各種目の招集開始時刻・完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

【トラック】

【フィールド】

開始時刻 25 分前

開始時刻 50 分前

完了時刻 15 分前

完了時刻 40 分前

※棒高跳

競技開始 1 時間前完了

※欠場する者は、招集開始時刻前までに欠場届を必ず競技者係に提出すること。

（3）招集の手順

① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。

② その際、アスリートビブス、スパイクおよび競技場内で着用するウェアやバッグ類の商標点検を受ける。
同時にトラック種目出場者は「腰ナンバー（シール式）」を受け取り、右腰に付けること。
シールが剥がれやすい素材で作られた競技服装の場合、安全ピンを使用し、固定すること。
5000m、5000mWは「選手・チーム受付」で配布された別アスリートビブスを付けること。
5000M、5000mWについては配布されたトランスポンダー付腰ナンバーを「左腰」に付けること。

③ 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目同時に兼ねて出場する競技者は、1種目目の招集時に多
種目同時出場届を競技者係に提出すること。多種目同時出場届はTICにて配布する。

④ 招集完了時刻に遅れたものは、欠場したものとして扱う。

（4）リレー種目について

① リレーオーダー用紙は各組の招集完了時刻1時間前までに、招集所係員に提出すること。

（リレーオーダー用紙はプログラム巻末の用紙を使用すること）

② 招集完了時刻には4人全員招集完了をしていること。（女子4×400mRは代理人1名のみの点呼を可とする）

③ リレーマーカーは出場チームで用意し、使用したマークは、使用後各チームの前走者が必ず取り除くこと。

④ 「腰ナンバー（シール式）」の着用ルールは下記の通りとする。

4×100mR：第4走者のみ付けること（右腰につける）

4×400mR：第2・3・4走者が付けること（右腰につける）

（5）欠場する場合は、招集開始時刻前までに欠場届を必ず競技者係に提出すること。なお、欠場届は、関西連盟
HPからダウンロードもしくはプログラム巻末ならびにTICにて用紙を受け取り使用すること。

6/6（金）16時までに提出する場合は、大会要項記載のメールアドレスに送付すること。

（6）招集所からスタート地点・跳躍場・投てき場への移動は競技役員の指示に従い移動すること。

（7）TICにて取り扱う書類・・・欠場届、多種目同時出場届

5. 競技進行について

(1) 競技について

- ① 予選におけるトラック種目のレーン順、フィールド種目の試技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ② 男子走幅跳は予選を実施する。予選通過記録は 7m10 cm、試技は 3 回までとする。
決勝進出者が 12 名に満たない場合、予選記録上位者から決勝進出の資格を得るものとする。
(例 1) 予選通過記録突破者が 8 名の場合：通過記録未突破者の内、記録上位 4 名が決勝進出となる
(例 2) 予選通過記録突破者が 14 名の場合：通過記録未突破者の決勝進出は無し(14 名で決勝実施)
決勝の試技は 3 回までとし、上位記録者 8 名を決定する。上位 8 名には更に 3 回の試技機会が与えられる。
- ③ 関西実業団以外のオープン参加選手について、トラック種目の予選（あるいは予備予選）がある場合は、次のラウンドに進むことはできない。
ただし、オープン参加選手の中で記録最上位の選手 1 名のみ次ラウンドに進めることとする。
※男子走幅跳においても、予選記録最上位の選手 1 名のみ決勝進出を認める(決勝の試技は 3 回まで)。
※予備予選を実施する男子 100m の場合、記録上位 4 名の選手まで、本予選への進出を認める(決勝へは進出することはできない)。
走幅跳、三段跳、投てき種目で、競技者が 9 人以上となる種目については、オープン参加選手の試技は 3 回までとする。
- ④ トラック種目、フィールド種目にまたがって同時時間帯に出場する場合は、フィールド競技役員にその旨を申し出て、トラック種目を優先して出場することを原則とする。
- ⑤ 男子 100m 予選及び予選がある種目の決勝の組合せとレーンは主催者が抽選し、速報サイトにて発表する。
- ⑥ トラック競技における次のラウンド進出者のプラスの決定について、その最下位において 100 分の 1 秒単位で同記録があった場合、1000 分の 1 秒で着差判定をして進出者を決める。着差がない場合でレーン数に余裕があれば同記録の者は次のラウンドへ進出できる。レーン数の不足する時は抽選する。
※着差無しで次ラウンド進出者が増える場合は、関西実業団登録選手を優先する。
この時、オープン参加選手の次ラウンド進出人数について、③に記載の通りとはならない。
- ⑦ 5000mW の競技者は、32 分を過ぎて新たな周回に入ることとはできない。
- ⑧ 本大会は、WA 規則 TR5 の改定ルールを適用する。
※詳細は日本陸連 HP 参照 <http://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>
- ⑨ アスリートビブスは配布された大きさのままで、ユニフォームの胸部と背部に付けること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。
(招待小学生リレーは、主催者が 1 枚配布するナンバーカードを胸部につけること)
- ⑩ 投てき種目、棒高跳の滑り止めについては各自、用意すること。
- ⑪ 三段跳の踏切板の位置は当日、跳躍審判長が決定する。

(2) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方について

走高跳	男	決	練習 1m80	1m85-90-95-2m00-05	以降 3cm ずつ上げる
	女	決	練習 1m55	1m60-65-70-75	以降 3cm ずつ上げる
棒高跳	男	決	練習 4m00	4m10-20-30-40	以降 10cm ずつ上げる
	女	決	練習 3m00	3m10-20-30-40	以降 10cm ずつ上げる

※ 同記録による 1 位決定のバーの上げ方は、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

また、天候により競技役員の判断で変更をする場合がある。

6. 競技用具について

- ① 投てき物は、競技開始 60 分前までに検査を受けた個人所有の使用を認める
受付場所…T I C（正面玄関内）に設ける。
希望者は投てき器具と「WA 認証番号を記入した投てき器具検査申告書」を添えて T I C へ提出すること。
- ② 検査を受けたのち、預かり証を発行する。返却は現地(競技実施場所)にて預かり証を確認の上返却する。
- ③ 検査に合格した投てき物は主催者で借り上げ、競技者全員が使用できるものとする。

7. 抗議について

抗議は、日本陸上競技連盟競技規則により、T I Cへ申し出るものとする。

8. 表彰について

- ① 各種目の優勝者を表彰する。
- ② 1位から3位までの入賞者は成績発表後直ちに、表彰待機（正面玄関内ホール）に集合し、競技役員の指示に従って賞状と副賞の贈呈を受けること。
- ③ 関西連盟以外の登録者については表彰の対象外とする。
- ④ 強化委員会にて、最優秀選手、敢闘選手、新人賞を選考し賞を与える。
- ⑤ 最優秀選手には毎日新聞社トロフィーを授与する。
- ⑥ 小学生、中学生の種目は1位～3位に賞状を授与する（T I Cでの受け渡し）。

9. その他

- (1) ヤンマースタジアム長居・バックストレート側2階コンコースを選手、スタッフ、付添の待機場所とする。
6/7(土)の競技終了後、コンコースにおけるシート等の残置を認めるが、紛失、盗難に関して主催者は一切責任を負わない。6/6(金)の残置においては一切認めない。
- (2) ヤンマースタジアム長居における観戦について
中段通路まで利用可能とする。上段は利用不可。
- (3) 部旗、横断幕、幟の掲出について
 - ・企業名、ブランド名、製品名などは広告とみなされる為、一切掲出できない。
 - ・上記とは関係ないクラブ名や、選手名のみであれば掲出可能。
※避難誘導等やスタジアムロゴを隠さないよう注意すること。
※競技運営などに支障のある場合は、撤去又は移設を指示する場合があるので従うこと。
 - ・掲出可能な部旗、横断幕、幟については大会期間中残置を認めるが、悪天候が予想される場合は撤去すること。
 - ・紛失、盗難などの他のトラブルに関して主催者は一切責任を負わない。
- (4) 記録は、掲示しない。ホームページ、関西連盟 SNS にて随時公開する。
- (5) 更衣について
 - ・更衣室は更衣の為のみ利用可能とする。待機場所としての利用は出来ない。
 - ・貴重品は各自で責任を持って管理すること。
 - ・更衣室の場所は以下の通り
ヤンマースタジアム長居：メインスタンド1階、競技役員控えエリア向かい（100m スタート側）
ヤンマーフィールド長居：スタンド1階、北側（100m スタート側）
※ヤンマーフィールド長居の更衣室は6/7、8の中学校競技会実施時は使用できない。
本注意事項2の開閉門時間を確認すること。
- (6) 競技中に発生した傷害・疾病については、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (7) 携帯電話、通信機能付きスマートウオッチ等の情報機器の競技場内への持ち込みは禁止する。
- (8) 本大会では、事前に申請し、承認を受けた報道関係者、企業広報担当者以外、一眼レフカメラ、ビデオカメラ、その他望遠機能のついた記録媒体の使用は一切認めない。
スマートフォンについては撮影者の制限は設けないが、スタンド下段（通路より下の座席）、並びに撮影禁止エリアでの撮影は一切認めない（報道関係者、企業広報担当者を除く）。
フィールド競技に出場する選手のコーチに関しては、T I Cにて撮影許可証の発行を受けた者に限り、選手競技実施中のコーチングエリア内（スタンド下段）での撮影を認める。撮影許可証の申請はコーチではなく「選手本人」がT I Cにて行うこと。その際、必ず自身のアスリートビブスを持参すること。
撮影許可を受けた者は、大会より発行される許可証（ビブス、ADカード、腕章等）を必ず見えるように着用すること。
競技場内のあらゆる時間、場所に置いて、不適切な撮影行為（盗撮等）が疑われる場合については、場内巡回スタッフが声掛けする。その際、撮影内容を確認する為、必ず応じること。盗撮を発見した場合には、直ちに警察に通報する。